

事業所名

児童発達支援センター つくも幼児教室

支援プログラム

作成日

2024年

10月

25日

法人（事業所）理念		誰もが一人の人として尊重され、安心してその人らしく生きられる社会へ										
支援方針		「人は人から学び吸収して育つ」を基本とし、人との関係や人との安心感を育てることを土台として全体的な成長発達を促していきます										
営業時間		9 9	時	45 0	分から	14 16	時	30 00	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容												
本人 支 援	人間関係・社会性	うんどうあそび、ことばあそび、やりとりあそび、手を使うあそび、おんがくあそびを軸の遊びとして支援プログラムを構成しています。 うんどうあそびは毎日、ことばあそび、やりとりあそび、手を使うあそび、おんがくあそびについては、曜日替わりで週1回実施しています。										
	運動・感覚	うんどうあそび・・・体の上手な使い方や力の調整ができるように、全身を使った楽しい遊びを行います ことばあそび・・・気持ちの共有ややりとりのための手段の獲得を通して言葉の土台を作り、理解・発信面の成長を促します てをつかうあそび・・・基礎となる身体を育み、腕や手、指先の動きを滑らかにし、生活動作の向上につなげていきます やりとりあそび・・・人とのかわりの中での情緒面の成長や集団生活の基礎となる社会性の基礎を作ります おんがくあそび・・・情緒の安定や社会性・協調性の確立、他者との楽しい時間の共有など必要な感覚を音楽によって養います										
	認知・行動											
	言語 コミュニケーション											
	健康・生活	毎日の日常生活の中で、着替え、身支度、排泄に対して個別に必要な支援を行います 給食提供を行う中で、楽しく食事に向かう気持ちを作り、食事のマナーを習得すること、摂食嚥下が苦手な子については、摂食嚥下指導を元に必要な支援や離乳食の提供を行います 日々の子どもの様子を把握しながら、子どもの健康状態をチェックします。身体測定や内科健診、歯科指導を定期に実施します。										
家族支援		年3回の定期面談の他に、希望により面談を実施します。 子どもへのかかわり方やあそびの提供などが目的の親子あそび企画や家族参加行事を実施します。				移行支援		保育所幼稚園との併行利用を実施し、保育所等訪問支援で子どもへの支援と併行利用園への支援を行います。 行事を通して近隣の公園や施設に出かける機会を作っています。				
地域支援・地域連携		市町村の実施する乳幼児健診や育児相談への参加、保育所幼稚園の巡回相談、自立支援協議会への参加により、安心して子育てができる地域づくり支援構築の一員として行政等と連携をしています。				職員の質の向上		毎月の職員研修や事例検討、外部研修への参加を通して、職員の専門性を高めていきます。理学療法士や心理士、摂食嚥下講師による職員への研修により、子どもへのかかわりを充実させていきます。				
主な行事等		親子遊び企画（各プログラムごとに的を絞って実施）、秋祭り、親子教室（土曜日を利用した親子参加保育）、遠足、九十九祭（法人行事）、クリスマス会、保護者対象企画（就学懇談会、ライフサポート書こう会、外部講師による講演会等）										